野沢温泉村宿泊体験学習に行ってきました

7月22日（月）～8月2日（金）　稲城市立小学校6年生

稲城市立小学校の６年生が、稲城市の友好都市である長野県野沢温泉村に３泊４日の宿泊体験学習に行ってきました。１泊目はスタカ湖の湖畔でキャンプをし、２・３泊目は村内の民宿に宿泊しました。豊かな自然や伝統文化の学習、民宿の方々とのふれあいや他校の友達との交流を通して、たくさんの思い出ができました。また、集団生活を通して仲間を思いやる気持ちや自分を見つめ直す機会にもなりました。

＜１日目＞　スタカ湖キャンプ場に到着し、開校式を行いました。植樹体験ではブナの木を植えました。これまで野沢温泉村を訪れた先輩方が植樹した木々が大きく成長していました。飯盒炊爨（はんごうすいさん）では、カレー作りをしました。民宿のお父さん、お母さんのご指導のもと、手際よく調理ができ、おいしいカレーをお腹いっぱい食べることができました。夜は、キャンプファイヤーやレクリエーションを楽しんだり、満天の星空を眺めたりと、大自然ならではの体験ができました。夜は涼しくなり、テントでの宿泊も快適でした。

＜２日目＞　午前は、トレッキングをしました。民宿のお父さん、お母さんにガイドをしていただき、草花やブナ林について教えていただきました。ゴンドラに乗って下山をする途中の景色は、野沢温泉村が一望でき、大きな空と遠くの山々のコントラストが大変きれいでした。午後は、温泉街の散策、外湯巡り等、グループごとに楽しみました。夜は、民宿のお父さん、お母さんから、野沢温泉村の道祖神祭り（日本三大火祭りのひとつと言われている）について教えていただいたりして、民宿ごとに様々な体験をしました。

＜３日目＞　野沢温泉村の伝統工芸品である、「つる細工」づくりの体験で籠をつくりました。つるの色や籠の太さを工夫することで、一人ひとり個性あふれる作品ができました。お昼ご飯は、郷土料理である「笹寿司」「いもなます」をいただきました。笹の葉の上に酢飯、卵やゼンマイ、でんぶ、豚肉、紅しょうが等を乗せ、箸を使わずそのまま口に運ぶのが本来の食べ方です。笹の葉には抗菌作用があり昔の人たちの知恵が伺えます。

＜４日目＞　閉校式では、民宿のお父さん、お母さんや観光産業課のみなさんに楽しかった思い出と感謝の気持ちを伝えるとともに、送り出していただいた東京にいる家族を思いながら、改めて感謝の気持ちをもちました。

中学１年生になると、同じ野沢温泉村で３学期にスキーやスノーシューの体験をする宿泊体験学習があり、民宿のお父さん、お母さんに「おかえりなさい」と出迎えてもらえます。

冬は、雪で景色が一変する白銀の世界になります。野沢温泉村はスキー場としてとても有名で、過去にはオリンピックが開催されている場所です。来年訪れた際には、再び大自然のすばらしさを実感することでしょう。

歌やダンス、ゲームを思い切り楽しみました。

薪を使っての火起こしや火力の調整に苦労しました。

▷問合せ　指導課

大空町に行ってきました

8月20日（火）～8月22日（木）　稲城市立小学校5年生

稲城市立小学校の５年生が、稲城市の姉妹都市である北海道大空町を訪問し２泊３日の教育交流を行いました。

稲城市と大空町は、昭和６３年から児童の作品交流を中心に交流を始め、平成３年に姉妹都市提携が結ばれました。毎年夏休みに稲城市の小学生が大空町の女満別小学校を訪問し、冬には女満別小学校の児童が稲城市を訪れるという教育交流を行っています。

本教育交流は、大空町の児童、保護者、教職員、地域の方々等との交流経験を通じて、自己理解及び自国理解を深めるとともに、持続可能な地域社会や国際社会の担い手としての広い視野、コミュニケーション能力、豊かな感性等の資質を高めることをねらいとしています。

＜１日目＞　稲城市を出発し、羽田空港から飛行機で女満別空港に到着しました。その後、女満別小学校で歓迎式・ホームステイ先のご家族との対面式があり、それぞれのご家庭での宿泊（ホームステイ）をしました。

＜２日目＞　各ホームステイ先から女満別小学校へ登校し、歓迎集会を開いていただきました。その後、女満別小学校の児童のみなさんと「畑作コース」「畜産コース」に分かれて交流学習を行いました。「畑作コース」では、ジャガイモ堀り体験をしました。広大な畑がひろがる景色は圧巻でした。また、収穫したジャガイモをポテトチップスに加工する工場を見学しました。「畜産コース」では、牛舎見学をした後に、搾乳や子牛にミルクをあげる体験をしました。小麦を収穫した麦わらを丸めた麦ロール（牛のベッドになる）は、小学生の背丈ほどの大きさで、上に乗って記念撮影をすることができました。女満別小学校に戻り、交流給食でカレーライス等を食べ、ここで女満別小学校の児童及びホームステイ先の家族とはお別れです。午後は、パークゴルフの体験をしたり、藻琴山の中腹から屈斜路を眺めたりしました。

＜３日目＞　「北方民族博物館」にてグリーンランドから北欧まで、アイヌ文化を含めた北方民族の文化とオホーツク文化について学びました。また、「オホーツク流氷館」では、「クリオネ」「ナメダンゴ」「オオカミウオ」といったオホーツク海の不思議な生き物を見たり、濡れたタオルを凍らせる「しばれ実験」をしたりする等、貴重な見学や体験をしました。

参加した児童は、３日間の教育交流を通して、他地域の人々との触れ合いの機会に積極的・自主的に参加することができました。また、大空町を中心とした北海道の豊かな自然に触れ、自然に親しみ、自然を愛する思いを深めることができました。来年１月には、女満別小学校の児童が稲城市の小学校を訪問します。心からのおもてなしを行い、稲城の良さを紹介することを通じて、故郷である稲城の良さを再確認する機会となることを期待しています。

女満別小学校全校児童に歓迎していただきました。

麦ロールの上に乗って女満別小学校の児童と一緒に記念撮影をしました。

▷問合せ　指導課

食育講演会を開催しました

７月３日（水）に、稲城第五中学校１、２年生を対象に、栄養教諭（南山小学校所属）による食育講演会を開催しました。

学校給食ができるまでの流れ、学校給食の栄養素の基準、栄養士や調理員の想い等を映像を交えながら解説した後、実際に使用している調理器具を用いて調理作業の体験を行いました。

生徒の皆さんからは、「生産者や調理場の方への感謝の気持ちを持って残さずに食べたい」「体の成長のために苦手な野菜等も頑張って食べようと思う」などの感想がありました。

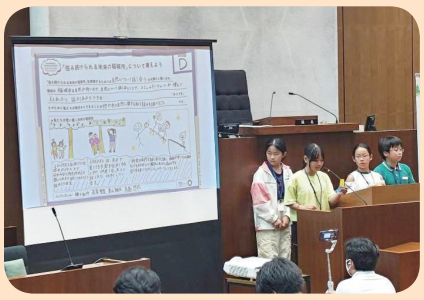
▷問合せ　学校給食課

国連を支える世界こども未来会議 in INAGI を開催しました

８月30日（金）に、地域振興プラザ及び稲城市議会議場において「国連を支える世界こども未来会議 in INAGI」を開催いたしました。

市立小学校12校の6年生代表24名が参加し、「住み続けられる未来の稲城市」をテーマに、グループに分かれてディスカッションをし、アイデアを出し合い発表を行いました。

詳細は12月15日号で紹介します。



▷問合せ　指導課